

(別紙6)

北海道における認定鳥獣捕獲等事業者等の育成に係る評価報告

1 認定鳥獣捕獲等事業者等の現状や課題等

道内の認定鳥獣捕獲等事業者数は現在27団体で、将来的に地域の鳥獣保護管理の総合的な担い手となることが期待されており、指定管理鳥獣捕獲等事業の適正かつ効率的な実施に当たっては、受託者となる認定鳥獣捕獲等事業者の資質の向上を図る必要がある。

また、道の振興局職員は、指定管理鳥獣捕獲等事業の円滑かつ効果的な実施のため、利害関係人との調整から事前計画作成、捕獲事業実施、評価検証までを一体的に管理するとともに、狩猟や市町村等が実施している許可捕獲と綿密に連携し、エゾシカ対策を推進していく重要な役割を担っている。このため、地域におけるコーディネーターとして、道の振興局職員の資質の向上を図る必要がある。

2 1の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

認定鳥獣捕獲等事業者を対象として、法令に関する知識や最新のエゾシカの生息状況、効率的な捕獲手法等に関する知識向上を図るため、育成講習会を実施した。

また、認定鳥獣捕獲等事業者を指導する職員を対象として、法令に関する知識や効率的な捕獲手法等に関する知識向上を図るため、シカ捕獲認証レベル1(DCC1)に派遣するとともに、研究機関との共催により囲いわな捕獲現地視察と座学講習によるコーディネーター養成研修を実施した。

①認定鳥獣捕獲等事業者育成講習会

開催日時：令和5年3月24日

開催場所：札幌市内

受講者：27名

内容：法令に基づく具体的な手続き等の知識、狩猟期間中の主な事故違反の概要、道の狩猟事故防止に係る取組状況、最新のエゾシカの生息状況、道の指定管理鳥獣捕獲等事業等の実施状況等について説明

②DCC1

開催日時：令和4年7月4日～8日、13日～14日

開催場所：酪農学園大学(江別市)、西興部村猟区

受講者：2名

内容：シカ捕獲に必要な知識と基本的な技能に関する室内講義、現地実習、習熟度や適正を審査するための検定試験

③コーディネーター養成研修

開催日時：令和5年3月3日

開催場所：野幌森林公園

参加者：30名

内容：令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業(石狩・江別区域)囲いわな捕獲現地視察、メス捕獲推進の重要性やモデル地域の取組紹介等の座学講習

注：実施した研修会等の内容及び参加人数等を記入すること。

3 2の取組に対する評価と今後の課題等

認定鳥獣捕獲等事業者育成講習会の開催を通じて、事業者の資質向上に役立った。
また、DCC1への派遣やコーディネーター養成研修の開催を通じて、エゾシカ捕獲の計画・立案からフィードバックまでの一連の流れ、わなの仕組みや運用方法について理解するとともに、エゾシカ捕獲を行う地域のコーディネーターに求められる役割（関係者間の情報伝達・連携体制の構築）について、改めて認識する機会とすることができた。特に、現地で囲いわなを実際に見て、捕獲手法を学ぶことができたことから、今後の的確な指導・助言につながるものと考えている。
引き続き、資質向上の取組を推進するとともに、市町村等関係機関と連携・情報共有を図ることで、さらなる捕獲数の確保につなげる必要がある。

注：1の課題等も踏まえ、取組の評価を具体的に記入すること。
また、評価を通じ明らかになった今後の課題等についても記入すること。

4 その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。